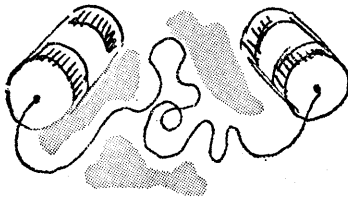


どもの誰かの後にハンカチを落とします、落とされた子どもは、気がついたら早くそのハンカチをひろいあげ鬼の後を追いかけてます。鬼は、つかまったらたたかれますので、できるだけ早く輪の外へ出ようとします。もし、ハンカチを落とされて気がつかなかったら、鬼は、二度目に回って来た時に、ハンカチで一回その子どもをたたくことができ、その子は輪の中に入って、今度は鬼になります。

最後の遊びは、日本のハンカチ落としとよく似ています。日本と異なる所は、子どもたちが外をむいて立って輪をつくり、鬼が中に入っていることです。

子どもの遊びは、時代や地域を越えて、非常に共通点が見られるといわれますが、この楽しいドイツの子どもの遊びをひとつ、ひとつ読んでいくうちに、不思議と何か暖かい親近感が湧いてくるのです。

(十文字学園女子短期大学)



幼児の教育 第七十三巻 第十一号

十一月号 © 定価一七〇円

昭和四十九年十月二十五日印刷
昭和四十九年十一月一日発行

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所
所フレーベル館にお願いいたします